



市整会

会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.60

2018年8月1日発行

医療法人 天野クリニック
〒534-0002 大阪市都島区大東町2-5-24
TEL06-6927-7500 FAX06-6922-9974

巻頭言

市整会副会長 増田 博 (昭和57年入局)

この会報が届くころは 梅雨のじめじめした日もすんで、暑い日が続いていることと思います。天野会長体制が2期目となりました。西澤先生が副会長に就任され、新理事も加わり、これからも役員一同、一致団結して市整会の会務運営を行っていきますので、会員の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年秋には、市整会45周年の記念行事を行いました。祝賀会では 楽しい時間を過ごすことができ、準備委員会の先生方のおかげで心から楽しむことができました。本当にありがとうございました。これからは、50周年記念事業に向けて準備を行っていきます。

さて、今年は医療と介護の同時改定がありました。医療報酬はそんなに落ち込むことはなかったのですが、介護報酬はかなりのマイナスになったと思います。わたくしのところでは、デイサービスを行っていますが、かなりの減収になりました。このままだとデイサービスを続けていけるか苦しいところです。

世の中では昨年から話題となっている、モリ・カケ問題がまだ収束していません。このまま何もはっきりしないまま、世の中から忘れ去られていくのでしょうか？それとも 何らかのけじめがつけられるのでしょうか。気になるところです。もう一つ、米朝の首脳会談も気になります。この会報ができるころには 何らかの結論が出ているかもしれません。ここでは日本の立ち位置が難しい

と思います。米朝、中国、韓国だけで話が進むのか、拉致問題を絡めて日本もその中に入れてもらえるのか、どうなるのでしょうか？

話題を変えますが、この原稿を書いている6月18日午前7時58分に大阪北部を中心にマグニチュード6.1の大きな地震がありました。大阪の北部を震源とする地震です。大阪で震度6弱の地震を観測するというのは1923(大正12)年以降はじめてらしく、実に100年ぶりくらいだそうです。まだ、余震があるかもしれませんので 安心はできませんが、不幸にして命を亡くされた方々に哀悼の意を表します。もし、診療所等に大きな被害が出て、お金を借りなければならないときに 先生方はどこでお金を借りられるでしょうか？そこで医師信を紹介させていただきます。正式名称は大阪府医師信用組合です。大阪府医師会員のための金融機関です。奈良、京都、滋賀で開業されている先生には申し訳ないのですが、兵庫県には兵庫県医療信用組合、和歌山県医には和歌山県医師信用組合があります。大阪府医師信用組合は市整会の会費の引き落としとか、周年記念の積み立ての引き落とし等を行っていただいておりますのでご存知の方は多いと思います。大阪の医師信の設立の経緯を少しだけ話します。昭和25年に9月に近畿一円を襲ったジェーン台風による被害は甚大であったそうで、特に臨海地区の港区、西淀川区、大正区、福島区、北区の各地では多くの診療所が被害を受け、どっぴりと水につかり、診療カルテが流

れ出るほどだったそうです。その復旧のための大阪府からの融資は中小企業への災害融資は決定されたものの、医師は府の融資対象から除外されるという不合理があったそうです。そのため、市中銀行が金を出し渋るのなら医師による、医師のための金融機関を持つという声が上がリ、当時の大阪府医師会会長が中心となり、大阪府医師会代議員会にて設立の件が昭和26年3月に正式決定されました。それが、医師信です。医師会員のための金融機関です。いろいろなローンも安い金利で借りることができます。まだ組合員になっておら

れない先生は組合員加入をしましょう。

さて6月16日には市整会の学術講演会が開かれました。遺伝性の高脂血症の話、嵌入爪の話、骨粗鬆症の話等がありましたが、市整会の会員の先生方だけでなく、他大学の先生方の多数の参加があり、盛況でした。たくさんの方の勉強することができました。また秋にむけて9月8日に学術・文化講演会、10月13日に『これからの整形外科のかたち』を考える会、11月18日に家族会と市整会行事が目白押しです。皆さま、積極的に参加のほどよろしくお願いいたします。



副会長就任のご挨拶

西澤 徹（昭和62年入局）

このたび歴史ある市整会の副会長を拝命いたしました西澤です。

昨年の学術講演会の際に、天野会長、増田副会長からお話をいただいたことはまさに青天の霹靂。最初はお断りさせていただこうと考えました。

浅学菲才は重々承知しておりますし、人格も円満と言えず、市整会の要職から私は最も遠いところになりました。

しかし亡父や育った塾では「頼まれたことは断るな」と教えられてきました。声がかかったのも何か理由があるのだろうと思なおし、市整会諮問委員にいらていただき、今般の運びとなりました。

市整会に限らずですが、医師会も含め日本全体が変革期にあると考えます。根底に高齢化があることは間違いありません。市整会は世代交代をうまく行ってきていると思います。先輩を尊敬尊重しつつ、その諸先輩に支えられ、後輩は伸び伸びと市整会を発展させて来られました。

しかし私たちからバトンタッチすべき後輩諸君の参加が少ないことに気づかされます。もったいないなあ。正直な感想です。

私は4年前より、大阪臨床整形外科医会の理事

でもあるのですが、ここで一番感じたのが、他大学の先生方は市整会を強く意識されていることでした。羨望や畏怖に近い感覚です。

年齢差を軽々と超えた強い団結力。

これこそが市整会の力の源泉と考えます。これを利用しない手はありません。

開業して20年余。医療行政はめまぐるしく変化してまいりました。会員諸氏に意識の差があるのは当然です。

しかし医療の知識を高めることも、我が身・家族を守ることも皆共通です。そのための場を市整会で提供していければと考えます。最初の敷居が高いのは承知しております。まずは、家族旅行や新年会、文化講演会に奥様、お子達ともども参加してみてください。居心地の良さを実感してもらえんと思います。

そして、いろいろな要望をだし、意見してください。個人なら困難なことも、市整会を通してならかなうかもしれません。一国一城の主たる私たちは皆平等です。上下はありません。

ぜひ市整会を利用し倒してください。

天野会長の元、皆が参加したくなる市整会になるよう全力を尽くすことをお誓い申し上げます。



今年度の事業について

市整会会長 天野 祐一（昭和57年入局）

会員の先生方におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。この僅か1年の間にもいろいろな事がありました。大先輩が相次いで遠行されました。若い先生も惜しまれて亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

5月12日の総会では、最近の懸案事項である「理事会、総会の成立の為に定款変更をする件」が会員の3分の2以上の同意を得て承認されました。

また今年度から3人目の副会長に西澤 徹先生に就任いただきました。多忙な先生ですが市整会にもそのパワーを分けていただけたらと思います。

昭和59年入局の金井 秀彰先生に新しく理事になっていただきました。福利厚生部門で協力いただければと思います。

さて、現在の市整会会員は196名です。漸減傾向にあると言えます。

市整会は昨年結成45年を迎えました。結成黎明期の会員の皆様の高齢化に伴う引退、社会情勢による新規開業医の減少など。日本の人口動態と連動して人数的なピークを過ぎてきている様に感じます。

増田 博副会長がこの4月からOCAO会長に就任されました。会員の先生方はOCAOの役員やそれぞれの地区医師会での重職に多く就かれており時間のやりくりが大変だと思います。そのような中で市整会の事業も継続していけるのか、はたまた縮小という選択肢もあるのか、ということも議論の俎上に上がる日が来るとおもいます。

総会で承認いただいたように本年度も昨年同様の事業を展開いたします。

9月8日の学術文化講演会では街歩きブームにも乗り、大阪の街を再発見するようなお話を予定しています。ご家族が聞かれても楽しめると思います。

10月13日には「これからの整形外科のかたちを考える会」において医業継承の話を中心に予定しています。

10月20日は今年度前期理事会があります。理事会での研修会では整形外科認定医資格継続単位を取得出来るように同門会や外部から講師を招くことになり、より一層参加者の増加を図ります。会員の先生方も講演会にはどうぞご参加ください。

11月18日は家族会です。京都の知人ぞ知る料亭「左阿彌」でのお食事です。東山の高台寺のすぐ南側にあり京都の眺望を楽しみにしています。

12月3日は市整会ゴルフコンペです。奮ってご参加ください。

10月28日にはいよいよ大阪市立大学大学院医学系研究科 整形外科教室 開講70周年記念式典、祝賀会がホテルニューオータニ大阪で開催されます。10時からの文化講演及び式典、集合写真を挟んで13時から祝賀会となります。今年から一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会理事長に就任されました中村 博亮教授をはじめ大学の先生方、同門会勤務医会の先生方、市整会会員の我々にとっても晴れがましいかぎりです。会員一丸となりまして盛会になるよう協力していきましょう。

今年もあっという間に半年が過ぎてしまいました。後半もイベントがたくさんあります。引き続き市整会の活動にご参加、ご協力をお願い申し上げます。



平成30年度 市整会 総会

日時：H30.05.12(土) (講演会のみ共催：科研製薬)

総会：16時～、講演会：16時45分～ ヴィアーレ大阪 3Fレガート

出席者：(計 39名) (敬称略)

天野祐一、増田 博、馬野隆信、石崎嘉昭、長田 明、前野岳敏、岡垣健太郎、中嶋一行、吉田研二郎、鳴嶋真人、西上茂樹、安部治郎、岩本善介、佐藤哲也、安田浩成、林 卓夫、宮脇裕二、秋野一男、斧出安弘、森沢康二、寺川文彦、柳井尚浩、柴田和弥、長濱信一、宮内 晃、鄭 明和、安井 明、竹中稔幸、岩城啓好、伊藤智康、豊川英樹、小堀肇彦、岡本浩一、越宗 勝、政田俊明、小竹志郎、妻鹿良平、山北真也、森川献志漢

委任状：(計 112通)

議題

総会の成立について (森川)

(出席者 39名、委任状 112通、会員 196名…総会成立)

報告事項

- 1、会員の動向について (森川)
- 2、平成29年度事業報告 (森川)
- 3、平成29年度会計報告 (伊藤)
- 4、その他の報告事項

協議事項

- 1、平成30年度事業報告並び計画 (森川)
- 2、平成30年度予算案 (伊藤)
- 3、その他の協議事項

報告事項

- 1、会員の動向について (森川)

死亡退会者の御報告 (4名)

小寺太平先生 (昭和31年入局) が、平成29年6月9日、ご逝去
榎本高明先生 (昭和39年入局) が、平成29年10月2日、ご逝去
有馬英之先生 (昭和28年入局) が、平成30年3月7日、ご逝去
國重昌彦先生 (平成2年入局) が、平成30年4月1日、ご逝去

名誉会員 (4名)

頼 功先生 (入局：昭和49年 ; 誕生日：S22.7.27)
中嶋一行先生 (入局：昭和50年 ; 誕生日：S22.11.26)
林 正樹先生 (入局：昭和51年 ; 誕生日：S22.11.26)
楯憲一郎先生 (入局：昭和52年 ; 誕生日：S22.4.28)

閉院情報（2名）

小野興三郎先生（昭和46年入局）

黒田晃司先生（昭和46年入局）

退会（1名）

山田忠尚先生（昭和46年入局）

住所変更（2名）

玉田善雄先生（昭和57年入局）

〒087-0014 根室市朝日町3丁目19番地（新勤務先：市立根室病院）

電話 0153-24-3201

中岡則和先生（昭和56年入局） 診療所の移転 平成29年7月3日から

（医）正友会 中岡整形外科クリニック

新住所 東大阪市御厨南1-1-11

電話/FAX 06-6781-5871

郵便物の送付の停止（2名）

高村 悌先生（昭和32年入局）

小野興三郎先生（昭和46年入局）

新入会（1名）

政田俊明先生（平成10年入局）

医療機関名 まさだ整形外科

所在地 〒662-0844 西宮市西福町5番16 野村ビル201

電話；0798-69-3330 FAX；0798-69-3339

2、平成29年度事業報告（森川）

H29.04.12（水）諮問委員会

H29.04.21（金）南大阪整形外科春季セミナー（大学行事）

H29.04.22（土）平成28年度後期理事会・市整会フォーラム ヴィアール大阪（本町）

共催：久光製薬 17時～理事会、18時～フォーラム

出席者23名、委任状23通（理事総数66名）

演題 「関節・筋肉の痛みのエコー、骨の強さの評価にDXA，基本のポイントについて」

座長：小竹志郎

演者 大川得太郎先生

H29.05.20（土）市整会総会 講演会のみ共催：科研製薬

出席者23名、委任状96通、会員199名…総会成立

午後4時～ 天王寺都ホテル

演題 「腰椎椎間にかかるメカニカルストレスが黄色靭帯に与える影響」座長：増田 博

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 林 和憲 先生

H29.05.27 (土) 市整会45周年記念第1回準備委員会

H29.06.10 (土) 学術講演会 スイスホテル南海大阪 8階「白鳥」15:30～ 共催:旭化成

市整会54名、同門会32名、理学療法士7名、非会員86名、合計179名

演題1 「筋膜リリースの基礎と応用」座長:小竹志郎

演者 首都大学東京大学院 理学療法科 学域教授 理学療法士・医学博士

竹井 仁先生

演題2 「交通事故診療の問題点」座長:木下裕介

演者 日本臨床整形外科学会 自賠労災委員会担当理事

医)慶仁会 やました整形外科 院長 山下仁司先生

演題3 「骨代謝回転を考慮した骨折・リウマチ・骨粗鬆症治療薬の使い分けと、
医療連携」座長:馬野隆信

演者 沖本クリニック 沖本信和 先生

市整会45周年記念第2回準備委員会 (14時～15時、同ホテル36階)

H29.06.18 (日) スケルトンゴルフコンペ 天野山CC 参加者38名

H29.06.29 (木) 南大阪整形外科夏季セミナー (大学行事)

H29.07. 会誌発行

H29.07.22 (土) 第3回市整会45周年記念 準備委員会

H29.08.30 (水) 諮問委員会

H29.09.02 (土) 45周年記念誌に向けて座談会 浅井東迎 17:00～ 17名参加

H29.09.09 (土) 平成29年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催:帝人ファーマ

ANAクラウンホテル 理事会18:00～、フォーラム19:00～

出席者 22名、委任状 18通 (理事総数64名)

演題「骨と関節 動作との関係一投げることを考える」座長:長濱信一

演者 上野憲司先生

「第4回市整会45周年記念 準備委員会」17:00～

H29.09.29 (金) 南大阪整形外科秋季セミナー (大学行事)

H29.09.30 (土) 第5回市整会45周年記念 準備委員会

H29.10.15 (日) 市整会45周年記念祝賀会

ANAクラウンプラザホテル 3F 万葉西中

受付:午後 5時～ 開宴:午後 5時30分～

参加 御来賓6名、会員52名、家族38名 合計96名

H29.10.28 (土) 『『これからの整形外科のかたち』を考える会』(健保介護診療担当勉強会)
ヴィアール大阪(本町) 午後4時45分～ 共催:久光製薬 参加者22名
演題1 「関節エコー画像からみた疼痛へのアプローチについて」座長:馬野隆信
演者 大阪市立大学大学院整形外科病院講師 岡野匡志先生
演題2 「整形外科の痛みへのエコーによるアプローチ(入門編)」座長:小竹志郎
演者 おおかわ整形外科クリニック 大川得太郎先生
ハンズオンセミナー 「運動器診療におけるエコーの導入と実践」座長:大川得太郎

H29.11.11 (土) 南大阪骨折研究会(大学行事)

H29.11.18 (土) 市整会学術文化講演会

ホテルモントレグラスミア大阪21階ルピナス 16:00～

共催:日本臓器製薬 総合司会:明石健一

参加:市整会会員24名、市整会家族3名、同門会3名、非会員6名、合計36名

学術講演「腎障害患者における薬物治療の注意点」

—安全性を考慮した整形外科領域の薬剤選択— 座長:西澤 徹

演者 名古屋大学大学院医学系研究科 循環器・肝臓・糖尿病(CKD)

先進診療システム学寄附講座 准教授 安田宜成先生

文化講演「魚が個体を識別している」 座長:増田 博

演者 大阪市立大学大学院 理学研究科 理学部生物学科 教授 幸田正典先生

H29.12.03 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC 参加者5組、20名

H29.12.20 (水) 諮問委員会

H30.01.12 (金) 南大阪整形外科冬季セミナー(大学行事)

H30.01.20 (土) 市整会新年会 場所:ANAクラウンプラザホテル「平安北」

学術講演共催:エーザイ

総合司会:小竹志郎 参加:学術講演会25名、新年会50名

学術講演「骨粗鬆症性椎体骨折の新たな治療戦略」座長:増田 博

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 病院講師 高橋真治先生

特別講演 17:00～、新年会 18:30～

アトラクション:Cocoroさん

H30.02.17 (土) 同門会総会&第9回大阪市立大学整形外科フォーラム(大学行事)

H30.03.10 (土) 市整会学術講演会 共催:小野薬品

参加:合計86名 出席:市整会35名 同門会20名 その他29名 理学療法士2名

場所:ホテルモントレグラスミア大阪 21階スノーベリー 総合司会:増田 博

学術講演1「関節エコーを用いた運動器・関節リウマチ診療の実際」座長:小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 病院講師 岡野匡志先生

病院紹介 佐野記念病院白庭病院

学術講演2「野球医学～高分解能MRIからコーチングまで～」座長:西澤 徹

H30.04.07 (土) 諮問委員会

H30.04.12 (木) ~14日 (土) 第47回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (大学行事)

H30.04.21 (土) 29年度後期理事会・市整会フォーラム (講演会のみ共催: 久光製薬)

理事会17時~、フォーラム18時~ ヴィアーレ大阪

出席者 20名、委任状 25通 (理事総数 61名)

演題「関節外科の進歩~患者満足度向上への取り組み~」座長: 明石健一

演者 医療法人啓信会 中之島いわき病院 院長 岩城啓好先生

3、平成29年度会計報告 (伊藤)

4、その他の報告事項

1) 70周年基金の途中経過報告 (宮内)

2) 総会の講演会について (森川)

総会での参加人数を増やす為に、社保や国保の審査員の先生方に講演を依頼し、総会での講演会を2演題とすることで諮問委員会・理事会にて検討した所。同意見で賛同が得られた。尚、開始は平成30年度の総会からとする。

(補足資料2) 過去の総会出席人数

3) 各講演会の抄録の収集方法 (森川)

会長名で依頼文を作成し、協賛メーカーを通じて事前に抄録を貰っておく。

又、抄録の集め方とその責任者の所在は、座長総括でこれまで同様で変更ありませんが、集まった抄録の管理は、学術講演、文化講演会は学術の宮内先生に、整形外科のかたちを考える会は馬野先生に、理事会と新年会は総務の森川先生が担う。

4) 70周年基金の会長を鳴嶋先生に務めて頂いていましたが、ある程度の子算が集められたことにより、本年度 (H30) より、現会長の天野会長に職務を譲り渡されました。

5) その他の報告事項はありませんでした。

協議事項

1、平成30年度事業報告並び計画 (森川)

H30.05.12 (土) 市整会 総会 ヴィアーレ大阪 講演会のみ共催: 科研製薬

(出席者39名、委任状112通、会員196名…総会成立)

学術講演1「末梢神経損傷に対する人工神経を用いた治療 基礎と臨床」座長: 小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 横井卓哉先生

学術講演2「最近の大阪における社会保険審査について」座長: 増田 博

演者 医療法人岩本整形外科 院長 岩本善介先生

H30.06.03 (日) スケルトンゴルフコンペ 天野山C C
参加：市整会24名、勤務医15名、総勢39名 (10組)

H30.06.16 (土) 学術講演会 共催：旭化成 南海スイスホテル 16：00～
総合司会：明石健一

(参加者 市整会51名 同門22名 非会員63名 合計136名)
学術講演 1 「整形外科医にもきいてほしい 高脂血症の話」座長：増田 博
演者 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部長 斯波真理子先生
学術講演 2 「陥入爪、巻き爪の原因と最新の対処法」座長：小竹志郎
演者 医療法人社団 瑞雲会 高田馬場病院 整形外科 町田英一先生
学術講演 3 「骨粗鬆症性脊椎疾患：注意すべきポイントと対策」座長：大川得太郎
演者 秋田大学大学院 医学系研究科医学専攻 機能展開医学系 整形外科学講座
准教授 宮腰尚久先生

H30.09.08 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬
学術講演：「がんとロコモティブシンドローム (がんロコモ) のトータルケア
～「入院から在宅へ」のいま、求められる整形外科医の役割とは?～」
演者 大阪国際がんセンター 整形外科 骨軟部腫瘍科副部長 大島和也先生
文化講演：「古地図で愉しむまち歩き」座長：天野 祐
演者 株式会社 竹中工務店 大阪本店 技術担当顧問
大阪くらしの今昔館ミュージアムボランティア町家衆 酒井祐一先生

H30.09.28 (金) 諮問委員会

H29.10.13 (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)
共催：久光製薬 大阪第一ホテル 午後4時から
演題「整形外科診療所の経営のかたち～法人設立から継承・相続まで～ (仮題)」
演者「未定」

H30.10.20 (土) 平成30年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ
理事会18時～、フォーラム19時～ 情報交換会20時～21時30分 ANAクラウン
演題「未定」
演者 和泉市立総合医療センター 整形外科 部長 溝川滋一先生 (予定)

H30.11.18 (日) 家族会 (京都方面)
豊臣秀吉の側室の淀殿とお江が建てた「養源院」(浅井長政の菩提寺)と三十三間堂観光。
織田信長の甥である織田頼長ゆかりの「左阿彌」での京懐石料理。

H30.10.28 (日) 市大整形外科70周年記念式典

H30.12.02 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉が丘C C 8組

H31.01.26 (土) 市整会新年会 場所：ANAクラウンプラザホテル 学術講演共催：エーザイ

2、平成30年度予算案（伊藤）

別紙資料参照

3、その他の協議事項

1) 理事会・市整会フォーラムの講演会の演者について

昨今の製薬会社さんとの絡みで講演会無くしては中々 理事会のみでの開催がしばらくなっている現状があり講演料なしで会員の先生方をお願いしてフォーラムを開催していましたが、協賛メーカーさんに講演料を出して頂き、今後は近隣の先生に講演を依頼してフォーラムを開催する方向に変更して行くことに諮問委員会・理事会で決定し総会においても了承されました。（例えば市大関連病院の先生方等に）

2) 役員変更

湊 康行先生（H02）：理事辞任

飯田伊佐男先生（S54）：理事辞任

金井秀彰先生（S59）：理事就任 福利厚生（ゴルフコンペ担当）

西澤 徹先生（S62）：諮問委員就任

小竹志郎先生（H11）：諮問委員就任

副会長に西澤 徹先生を推薦し、諮問委員会・理事会での了承が得られました、本総会でも了承が得られました。（補足資料1）

3) 定款の第4章第7条に出てくる「民法第59条」は、廃止された事により、定款変更の必要性があり諮問委員会・理事会で協議をして以下の変更となり、総会での了承が得られました。（定款変更に伴い第8章の第12条で、委任状と参加者で2/3以上の同意が得られ可決）

第4章 役員

第7条（現在の定款）

- 1、会長は本会を代表し、会務を総理する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- 3、理事は、理事会を構成し、会務を分掌する。
- 4、監事は民法第59条の職務を行う。

と言う文面を

第7条（変更案）

- 1、会長は本会を代表し、会務を総理する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- 3、理事は、理事会を構成し、会務を分掌する。
- 4、監事の職務は、次のとおりとする。
 - (1) 財産の状況を監査すること。
 - (2) 理事の業務の執行の状況を監査すること。
 - (3) 財産の状況又は業務の執行について、法令、定款若しくは寄附行為に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、総会に報告をすること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、総会を招集すること。

と言う文面に変更する。

4) 理事会・総会 成立の為に定款変更をする件

参加人数・委任状の返信率が悪く、理事会・総会が成立しにくくなっている現状があり、理事会・諮問委員会にて協議したところ、了承が得られておりますが、総会にて定款変更について協議をお願いしたく議題として挙げさせて頂きました。

これまでに、人数見直しも検討しましたが、人数の削減にも諸問題が有り、定款の変更ではどうか？を前回の諮問委員会・理事会でも協議したところ、会員の過半数ではなく1/3で成立する事に定款を変更する事や、名誉会員の方々は、出席・委任状の無き場合は自動的に会長に議決権を委ねた事とする等の様々な意見を話しあいましたが、最終的に、名誉会員で理事の先生は、新たに名誉理事という役職に就いて頂き、名誉理事で出席・委任状の無き場合は会長に議決権を委ねた事とする意見で賛同が得られ諮問委員会と理事会でも定款の変更案が可決されました。又、本総会でも了承が得られました。(定款変更に伴い第8章の第12条で、委任状と参加者で2/3以上の同意が得られ可決)

(補足資料2)直近の総会・理事会出席状況

定款 第4章 役員 第5条、第6条、第7条 (赤字が追加分)

第5条 この会には次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名以内
- (3) 理事 必要員数
- (4) 名誉理事 必要員数
- (5) 監事 2名

第6条 役員を選出

- 1、理事および監事は総会において選出する。
- 2、理事の中で名誉会員となった者は、名誉理事という役職に就く。
- 3、会長、副会長は理事の互選とする。
- 4、理事および監事は相互に兼ねることは出来ない。

第7条

- 1、会長は本会を代表し、会務を総理する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- 3、理事・名誉理事は、理事会を構成し、会務を分掌する。
- 4、監事は民法第59条の職務を行う。

第6章 会議 第17条 (赤字が追加分)

- 1、総会、理事会は、それぞれの会議の構成員の過半数の出席がなければ開会することが出来ない。なお、構成員の過半数の出席が得られない時は、欠席者の記名委任状をもって代行できるものとする。
- 2、会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決し、賛否同数のときは議長が決するものとする。
- 3、前項の場合において、議長は会議の構成員として議決に加わることは出来ない。
- 4、名誉理事で総会・理事会に欠席で委任状の無き場合は、会長に議決権を委任したとみなす。

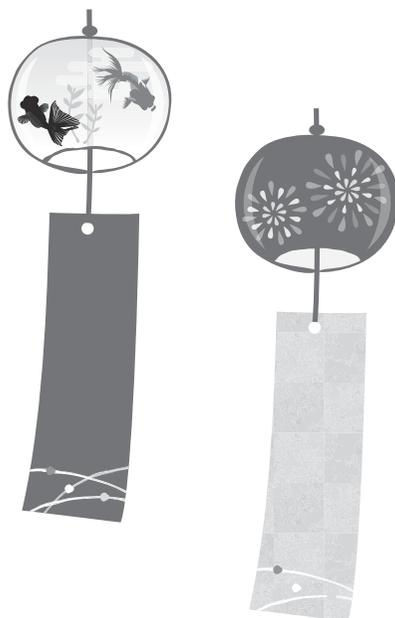
5) その他の協議事項はありませんでした。

(補足資料2) 過去の総会 出席人数

H29：23名 (委任状：96通 (会員：199名))
H28：29名 (委任状：110通 (会員：201名))
H27：37名 (委任状：88通 (会員：204名))
H26：37名 (委任状：86通 (会員：205名))
H25：34名 (委任状：86通 (会員：202名))

過去の理事会 出席人数

H29.09.09平成29年度前期理事会 出席者：22名、委任状：18通 (理事64名)
H29.04.22平成28年度後期理事会 出席者：23名、委任状：23通 (理事66名)
H28.10.01平成28年度前期理事会 出席者：19名、委任状：22通 (理事67名)
H28.03.26平成27年度後期理事会 理事会：18名 委任状：27通 (理事63名)
H27.09.12平成27年度前期理事会 出席者：22名、委任状：25通 (理事63名)
H27.03.28平成26年度後期理事会 出席者：22名、委任状：24通 (理事66名)



市大整形外科70周年の準備委員会

顧問	:	南平	克積	頼	功				
実行委員会	:	天野	祐一	鳴嶋	真人	安田	浩成	増田	博
		柳井	尚浩						
大学運営委員会	:	天野	祐一	鳴嶋	真人	安田	浩成	増田	博
		斧出	安弘						
市整会運営委員会	:	宮内	晃	秋野	一男	伊藤	智康	調子	和則
		上野	憲司	大川得太郎		木下	裕介	宮脇	裕二
		西澤	徹	馬野	隆信	森川	献志漢		



市整会 平成29年度収支決算書・平成30年度予算書

平成29年度収支計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

1. 収入の部

科目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥5,040,000	¥4,995,000	¥-45,000
第2項 特別会費	¥1	¥0	¥-1
小計	¥5,040,001	¥4,995,000	¥-45,001
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥65	¥-1,935
第2項 寄付金収入	¥1	¥0	¥-1
第3項 その他の収入	¥400,000	¥964,000	¥564,000
小計	¥402,001	¥964,065	¥562,064
当期収入合計	¥5,442,002	¥5,959,065	¥517,063
繰越金	¥7,298,522	¥7,298,522	¥0
合計	¥12,740,524	¥13,257,587	¥517,063

2. 支出の部

科目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥200,000	¥110,083	¥-89,917
第2項 事務用品費	¥20,000	¥18,975	¥-1,025
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥169,058	¥-190,942
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥1,400,000	¥1,455,132	¥55,132
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,240,648	¥-259,352
第3項 福利厚生部	¥500,000	¥425,157	¥-74,843
第4項 広報部	¥400,000	¥422,776	¥22,776
第5項 税務部	¥30,000	¥0	¥-30,000
第6項 雑費	¥30,000	¥8,964	¥-21,036
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 45周年記念事業費	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥5,260,000	¥4,952,677	¥-307,323
第3款 慶弔費	¥250,000	¥146,136	¥-103,864
第4款 予備費	¥6,870,524		
当期支出合計	¥12,740,524	¥5,267,871	¥-7,472,653
次期繰越金		¥7,989,716	
合計	¥12,740,524	¥13,257,587	¥517,063

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	166.5/200名（閉院・閉院扱い32名、未納2名、1名半期分、 年度遅れ納入1名） $¥30,000 \times (200 - 32 - 2 - 0.5 + 1) =$	¥4,995,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行 合計	¥41 ¥24 ¥65
その他の収入	学術講演会等参加費	¥964,000

2. 支出の部

事務費

第1項 通信費	FAXネット、郵送等	¥110,083
第2項 事務用品費	香典袋、印鑑	¥18,975
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

各部活動費

第1項 総務部	会議費 新年会会場費（クラウンプラザホテル） 新年会アトラクション代 ホームページ（サーバー利用料、ドメイン維持管理料） ネームプレート代 封筒・名簿等印刷	¥294,360 ¥765,068 ¥250,000 ¥24,960 ¥8,100 ¥112,644
第2項 学術部	大学医局出張費援助 文化講演（幸田正幸 先生） 日整会研修会認定事務費	¥1,000,000 ¥210,000 ¥30,648
第3項 福利厚生部	市整会ゴルフ	¥425,157
第4項 広報部	会報印刷代等	¥422,776
第6項 雑費	振込手数料等	¥8,964

慶弔費	名誉会員表彰状代・花代・香典等	¥146,136
-----	-----------------	----------

平成30年度予算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

1. 収入の部

科目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥5,040,000	¥4,950,000	¥-90,000
第2項 特別会費	¥1	¥0	¥-1
小計	¥5,040,001	¥4,950,000	¥-90,001
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥2,000	¥0
第2項 寄付金収入	¥1	¥0	¥-1
第3項 その他の収入	¥400,000	¥400,000	¥0
小計	¥402,001	¥402,000	¥-1
当期収入合計	¥5,442,002	¥5,352,000	¥-90,002
前期繰越金	¥7,298,522	¥7,989,716	¥691,194
合計	¥12,740,524	¥13,341,716	¥601,192

2. 支出の部

科目	平成29年度予算額	平成30年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥200,000	¥200,000	¥0
第2項 事務用品費	¥20,000	¥20,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥360,000	¥0
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥1,400,000	¥1,400,000	¥0
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0
第3項 福利厚生部	¥500,000	¥1,400,000	¥900,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥30,000	¥30,000	¥0
第6項 雑費	¥30,000	¥30,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥5,260,000	¥6,160,000	¥900,000
第3款 慶弔費	¥250,000	¥250,000	¥0
第4款 予備費	¥6,870,524	¥6,571,716	
合計	¥12,740,524	¥13,341,716	¥601,192

会計監査報告書

平成 29 年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の
歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正
に処理・管理されたことを認めます。

平成 30 年 4 月 28 日

監事

楢 憲一郎



平成 30 年 5 月 7 日

監事

守田 浩成



大阪北部地震、雑感

市整會會長 天野 祐一（昭和57年入局）

地震に遭われた会員の皆様、被害はいかがでしょうか。

6月18日7時58分、大阪市内で地震に遭いました。豊中の自宅を6時40分に出て通っていたホテル系のフィットネスクラブの椅子の上でした。ドンと突き上げが一回来て左右に横揺れが2回、同時に見ていたテレビニュースで警報が放映され臨時ニュースに切り替わりました。大阪府北部が震源地の直下型地震で震度5強であるとの事。朝ドラも放映中止のようなのですぐに着替えて施設を出ようとしたところ、防火扉が閉まっておりエレベーターも止まっていました。館内放送で地震があったこと、そのまま客室で待機する事とアナウンスされていました。防火扉を開けて階段で外に出て車で10分の都島区の診療所へ急いで戻りましたが、途中の道路では平成7年の阪神・淡路大震災の時のように歩道を歩く人の多さに気付きました。JRをはじめ地下鉄、私鉄、モノレールも止まっているためでした。

震度7までは大丈夫と言われている診療所は、幸いにも飾ってあった写真の額が倒れて割れた程度でした。しかし電車通勤のスタッフが来る事が出来ず、彼らは降車した駅からバス路線のある所まで歩いて帰り、後から聞いたところでは帰り道もかなり苦勞したようでした。

さすがに来院する患者さんも少なくテレビニュースを見ていると高槻市、枚方市、茨木市で被害が大きく、ブロック塀が倒れて犠牲者が出ており、阪神高速も通行止めになっていました。そのため一般道も大渋滞となり日中の車移動も困難でした。

併設のデイサービスの送迎も電話連絡がつかずマンションのエレベーターも止まっているため、8階の利用者を階段を使って送迎したりとスタッフが苦勞したようです。それでも診療所も通所介護施設もほぼ営業できたのは被害が少なかったためでした。

7時ごろのテレビニュースでは地下鉄が動いていないため新御堂筋の新淀川にかかる橋の狭い歩

道を歩いている人たちが空撮されており、新御堂筋の大渋滞も映されていました。このころ阪神高速が開通したとの事で都島入口から上がり船場と高麗橋の渋滞を避けて難波周りで空港線池田まで渋滞なく帰宅することが出来ました。情報は大切だと痛感しました。しかし7時のニュースを見ながら帰宅困難者に対するケアは誰がどの様にするのか、という問題は残ったように思います。どの地区もそうでしょうが北摂の住民は地下鉄御堂筋線とつながっている北大阪急行が止まると帰れません。江坂駅まで動いてくれた地下鉄の先は歩けなかったようです。

さて、自宅とはLINEで連絡が取れていましたが、食器棚のガラス器がかなり落ちてしまい足の踏み場もないようでした。地震対策をしていた食器棚と、していなかった食器棚でくっきりと明暗が別れました。開きの戸棚は簡単な針金で開かないように固定していただけでワイングラスが助かっていました。家内は一日中壊れ物の後片付けをして疲れていました。幸い家具そのものが倒れたりしていなかったのと花瓶や酒瓶が割れなかったので水浸しや酒の臭いの被害はありませんでした。自室は固定していない本棚が落下して本が散乱していたり使っていないオーディオ機器が落ちていたりしましたが問題はありませんでした。

自宅はその程度でおさまったのですが、直ぐ近所のイオンモールは天井が落ちて2階の書店は棚がガラスの壁にぶつかっており、1階のペットショップやお好み焼きチェーン店が閉鎖になり、スーパーも生鮮食品が入らずガラガラでした。モールの一部が医療ビルで内科、婦人科、歯科医院が入っているのですが、さすがに三日後から診療再開していました。2階ですがエレベーターは止まったままです。医療ビルでの開業のリスクが浮き彫りになりました。

よく行く箕面のシネコンも26日現在営業していませんし、エキスポシティも開いていません。再開まで2ヶ月という情報もありテナントでの開業のリスク管理も再考の余地があると思います。

6月16日の市整会学術講演会で講演いただいた国立循環器病センターの斯波先生に講演のお礼メールを送ったところ国循は貯水槽が壊れて大変なことになっているとの事でした。

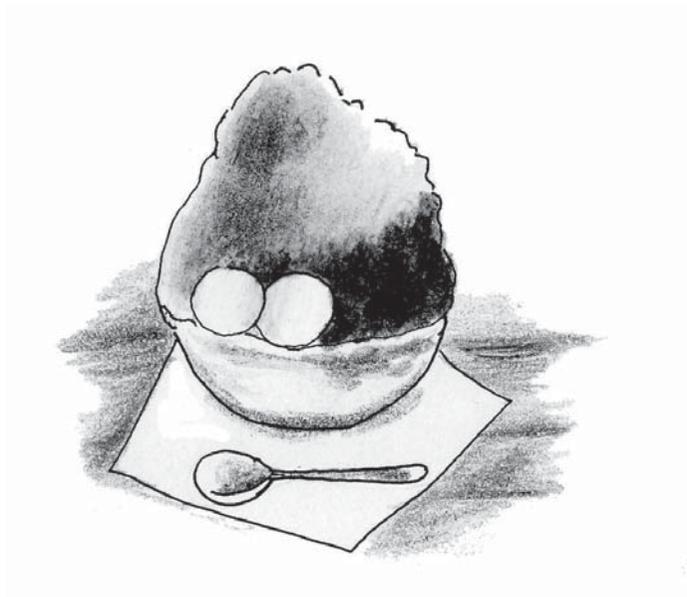
その週の木曜日に産業医をしている近くの高校で職場巡視をしましたら例のブロック塀とほとんど同じサイズの塀があり、控え壁も不十分なところもあり、2ヶ所にひびも入っていました。やり替えないといけないでしょう。

また、患者さんの自宅のブロック塀も壊れかけているが地震保険はブロック塀には補償されないとのことでした。

大阪は30年以内に70%の確率で大地震が来ると言われていますが、今回の地震はマグニチュード

6.1と規模がまだ小さく、次があると覚悟しなければいけません。地震そのもので倒壊した建物の下敷きにならないければサバイバルできると思います。

診療所のあたりは地震で新淀川が決壊すると津波が5メートルの高さまで来ると言われています。一階は完全に水没しレセコン、レントゲン装置、リハビリ機器も全てダメになると思います。個人的には今回の地震で不足している防災グッズも見直せましたし、より一層備えていこうと痛感しておりますが、こればかりはどうしようもないと諦めています。来ないことを祈るばかりです。



家族会のお知らせ

とっておき京都観光！

日時：平成30年11月18日（日）

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

昨年は、市整会45周年祝賀会のためお休みになりました、家族会旅行ですが、今年は開催します。1年間じっくり練りに練った、とっておきの京都観光を予定しております。連休の為、例年より少し開催が遅くなりますが、その分京都の紅葉も楽しめると思います。

今年が目玉の1つは養源院です。養源院は、戦国一、数奇な運命をたどった浅井長政の菩提寺です。浅井長政は織田信長の妹であるお市と政略結婚しましたが、その後信長に敗れ自ら命を絶ちました。お市の3姉妹の長女である淀君が豊臣秀吉に頼んで、長政の菩提を弔うために建てられた寺です。一度落雷で焼失しましたが、3姉妹の3女であるお江がそれを受け継ぎ再建されました。お江によって再興された後、養源院は徳川家の菩提所となり、2代将軍秀忠から14代将軍家茂までの位牌が安置されています。お江と秀忠の位牌をよく見ると、「菊」「葵」「桐」の3つの紋があります。実は3つの紋を拝見できる寺院は日本でここだけなのです。「菊」は天皇家の紋で、お江と秀忠の子、和子が後水尾天皇のもとに入内したことにつけられています。「葵」は歴代の位牌がまつられている徳川家の紋で、「桐」は養源院を建立した豊臣家の紋。養源院の創建・復興に尽力した人物たちの家紋を見ることができます。このお寺には、以前市整会で観光した風神雷神の俵屋宗達の出世作がなんと3点もあります。また、養源院の本堂と廊下の天井は「血天井」と呼ばれ、伏見城の戦いで自刃した380余名の徳川の忠臣の血が染みついた床板を、徳川家康が供養にお寺の天井板としたものまであります。養源院はそれほど大きくない境内ですが、京都紅葉100選にも選ばれた紅葉の名所です。

2番目の目玉は、三十三間堂です。1266年に完成した本堂には重要文化財である木造千手観音立像1001体があり、おそらく一度は訪れた方も多いと思われます。実は、木造千手観音立像1001体の修理が、45年前から行われており平成29年12月22日に完了しました。リフレッシュした京都の雅な観音様のお姿もご堪能下さい。

3番目は東山円山公園にある左阿彌（さあみ）での京会席料理を楽しんでいただきます。左阿彌は創業160年あまりの料亭で、織田信長の甥の織田頼長にゆかりがあります。今回は、歴史ロマンてんこ盛りになりました。お部屋はテーブル席をご用意しました。

4番目はお楽しみの体験コーナーです。京友禅染めによるハンカチ作りを予定しております。

家族会は、お子様連れから、ご年配の方まで幅広く、気楽に親睦を深める場として、うれしいことに毎年参加者が増加しております。今回は63名のご参加をいただき、今年は90名まで可能になるよう準備しております。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞご家族そろって、家族会を楽しんで下さい。



大学病院時代の思い出

藤原 良江（昭和44年入局）

松田英雄先生

先生には一廻り下の弟様、英樹先生がおられ、同じく市大整形に所属しておられる。平成入局の先生方は兄君を大松さん、弟君を小松さんと呼んでいるらしい。英雄先生はネルヘン一筋の先生で、愛犬の名前もネルであった。英樹先生は穏やかで温かな方であった。英雄先生は豪気よりも剛毅と言える方でどちらかと言えばソッケない対応であった。

一番の難点はこの先生の字が読み難いことであった。ある時「先生もう少し読めるような字で書いていただけませんか」とお願いした。怒声が返ってきた。「君はな！整形外科が分ってないから僕の字が読めんのや」逡として引き下った。それから2ヵ月して処置室にいると看護師が「先生、これ何と書いてあるか読んで下さい」と言って来た。私は「これを書かれた先生は三診で診察しておられるじゃないの！」「松田先生が読めないから藤原先生に読んでもらえと言われた」と言う。2ヵ月前、私が叱られたのは一体何だったのかと腹立ちを覚えたが、看護師も再度聞きに行くと怒鳴られるだけだと思いつつ何とか読んだ。私の胸はムカツいていた。

ある時英雄先生に「先生の字をみていると王義之を思い出します」「そうか…そうか」と相好を崩された。「この先生、王義之を知っておられるのか？いやお父上が王義之の研究者でいらっしゃるのか？」と思ったが怒声ごとんでくるのを避けてそれ以上聞かなかった。いつか英樹先生にお聞きしようと思いながら45年経ってしまった。

その頃整形外科では、おさわりが横行していた。看護師の臀部を挨拶代りとしてそっと撫でるのである。そのような行為を「親愛なる挨拶」と称して最初にされたのが英雄先生であったような気もする。私も一回やられた。その時猛然と抗議したのでその後は被害もなく過ごせた。島津先生は教授という立場上苦虫をかみつぶした様子で知らん顔をされていた。総婦長が時に教授に「け

しからん行為」として抗議されたのも一再ならずであったと聞いている。今こんなことをしたらどうなっていたらろう。教職員は言うに及ばず病院職員からも吊し上げにあい、整形外科だけ浮き上がってしまったらろうと思う。

広橋先生

広橋先生には住吉市民病院に移ってからのの方がよくお世話になったと思いますが、一番よかったことは医局での席が先生の隣であったことである。先生はご自分が執刀された手術は言うに及ばず、助手でつかれた手術も克明にノートに記しておられた。それをみて私もならった。X-Pの絵も記入していた。それが平成19年、手外科専門医の書類申請時非常に役立った。平成19年には住吉市民病院には昭和時代のX-Pはよほどの貴重な例以外のX-Pは処分していた。昭和50年代のX-Pは大学には保管されていたが私には探し出す努力と時間がなかった。しかし広橋先生のおかげで私の手術記録はX-Pも写生していた。3日間の徹夜で書き上げ、申請に間に合って専門医にしてもらった。孟母三遷とは違うが私には有難いことであった。

前野先生

昭和52年春、先生はフランスへ留学された。その留守中頸椎腫瘍の患者をもたされたことは前回に書かせてもらった。先生が留学されてまもなく教授からEMGを担当するように言われた。EMGについては西も東も分からない。しかしやらなければならない。中央検査室の中尾技師に助けられながら、なんとか職責を果たした。おかげで神経の名前を聞いたら、〇〇筋と××筋と反応出来るようになった。時に破格もあって楽しかった。又後輩に短母指屈筋について聞かれた時、浅層は正中神経、深層は尺骨神経支配と言って先輩の面目を保ったこともあった。脳外科の入局まもなくの医師の依頼書には狭い空白に神経とその支配域の筋肉が全て書かれてあってびっくりさせられたこともあった。

胸部出口症候群の手術

前野先生の助手として手術についたのは、この一件だけである。腋窩より侵入した。筋鉤は一番長いものが用意されていた。手術が進むにつれ、「筋鉤の先を効かせよ」の声がとぶ。必死で鉤を引いているが、だんだん手が痺れてくる。ちょっと力を緩めると「先を効かせよ」と言われる。手術はそれほど長い時間ではなかったが助手にとっては本当に長く感じられ、終わった時はしばらく手が痺れていた。前野先生は温厚な紳士であられたので怒声とはばなかったが、他の先生ならきっと足を蹴られたであろうと思っている。このような手術は二度とつきたくないと思った。そして今日まで幸か不幸か胸部出口症候群にはあえていない。

木村英一先生

木村先生は医学部出身で最初に市大学長になられた先生である。

昭和45年、学園紛争まっただ中、その頃の北館五階に職員病棟が作られていた。患者は、日々の心労で心臓が悲鳴をあげた木村先生、バレーの競技中トスを相手陣地に叩き込んで着地した途端アキレス腱を切った外科病棟の婦長さん、右膝痛で股部から足関節までギブスをまいていた私の三人であった。私は朝から別の病室でよく寮歌を歌っていた。(私は寮歌以外殆んど歌を知らない)木村先生も寮歌がお好きで、大阪で開かれる寮歌祭にはよく足を運ばれていた。会場でお姿をよくみたものである。ある時その高歌放吟がバレてしまった。でも先生は「うるさいな」とは言われなかった。寮歌は先生の心臓に悪い影響を与えていなかったようである。ただ私は先生の母校の寮歌を知らなかったのが申し訳なく思っている。

整形外科が40周年誌を出した時、私は年末年始の当直についての話を載せてもらった。それを読まれた先生からお電話をいただいた。その時何故私が北館にいたのか分からないが北館詰所で電話をいただいた。

「はい藤原でございます」「木村です」「申し訳ありませんがどちらの木村様でしょうか?」「学長の木村です」「ご無沙汰いたしております。元気に職務についております。今日はどんなご用でしょうか?」「君は相変わらずユニークだね」私

は答えようもなく「はーあ、はい……」とそのあとはどんな話をしたか覚えていない。その後また何年かしてお電話をいただいたが、先生のご息や姪御さんの話をしたのは覚えているが、何でお電話をいただいたのか覚えていない。私が住吉市民病院に勤務していた時先生は亡くなられた。夕方その報に接し、帰路先生の遺影に手をあわせていた。帰路島津教授が自宅に向かって歩いておられるのを見ましたが声もおかけせず帰宅した。

嗅覚の話

私は聴力は悪いが視力と嗅覚は人より勝っていると思っていた。ある水曜日当直にあたっていた。水曜日は手術日である。夜半、点滴がもれたということでおこされた。患者さんは両腕とも針でつつかれ血管を探し出せなかったので足から入れることにした。布団をめくるとかすかに死臭がした。点滴を難なく終え詰所にもどり、看護師さんに「あの患者さん2ヵ月以内に亡くなるよ」と話していた。翌日詰所で言わなくてもよいのに「あの患者さん2ヵ月以内に亡くなるよ」と話していた。そこに主治医のM医師がおられた。「先生何てことを言うんです」と彼は怒った。「でも彼は亡くなる……」10日後看護師が「先生、あの人がおかゆさん食べてます」「いや2ヵ月以内に亡くなる……」とつぶやいていた。結局52日目に亡くなった。M医師が「先生、なんであんなことを言ったんです」と詰めよった。「死臭とは足からおこるんや、手術日の夜中、点滴を頼まれて足もとの布団を軽くめくったら、かすかに死臭がしたんや、でもopは成功し患者さんは日頃の苦痛が除かれ喜んでほったんでしょ……」それでもM医師はブツブツ言っていた。その後何度か先輩に呼ばれ「〇号室の××さんをみてきてくれんかと頼まれた。足元の布団を軽くめくって臭いをかぎ「先生2週間大丈夫です」「ほな、僕スキーに行つて来ます」とスキーに行かれた先生もあった。

私の嗅覚も視力も75歳をこえ、後期高齢者になると大分落ちてきました。自分の死臭は嗅ぐことは出来ないかもしれないと思っています。現在は電車に乗って隣席の人が3週間位入浴してないなと思ったら隣の車両に移っています。

開業してもうすぐ10年

くわの整形外科 桑野 吉浩（平成4年入局）

高級住宅地である芦屋市東山町で整形外科クリニックを開業して9年。同門の先生に『芦屋で開業してます』と挨拶すると、必ずとっていいほど、『何でそんなところで？』と聞かれます。本当のところは、何も考えずに、決めてしまいました。（アホちゃう？）と思われるでしょうね。本来なら、人口密度の高いところなんだろうが…。

物件見て、周りの雰囲気だけで、調査のデータも見ずに決めてました。だからでしょうか？開業して間もない頃は、暇でしたので、午前と午後の診察の間にもすることもなく、暇を見つけては、あてもなく、クリニックの周囲をさまよっていました。

散歩していると、この辺りは、坂がきつく疲れるなーということもありましたが、自然が豊かで、桜の頃には、道の両側から桜の花が満開になってそのトンネルの中を歩いて、気分転換、リフレッシュさせてもらいました。

ところどころに静かな佇まいの池や、桜が満開になる公園、海の方まで見渡せる高台になっている場所があったりと、四季それぞれに雰囲気の異なる場所があり、なんていいところだろうとつくづく思いました。

開院前から、地域の人々に喜んでもらえるようなクリニックを目指そうと考えていたので、往診することで、役に立とうと思っていました。というのも、勤務医時代から、救急患者などを見る機会が多く、救急のニーズもあるだろうと思っていたからです。じわじわと、往診する機会が増え、徐々に昼間の休み時間も少なくなってきましたが、疲れることはありませんでした。

ある時、腰痛で動けなくなったため、往診を依頼された患者がいました。患者宅にうかがった時、腰椎の圧迫骨折を起こしているようで、少しでも痛みをやわらげようと、ギブス固定をしようと思いました。少しでも長く着用してられるように、患者の希望を聞き、何度も何度もギブス調整するうちに、『有難う、これでいいです』と、

喜んでいただきました。その後から、定期的に往診し治療するたびに、毎回大変喜んでいただき、医者冥利につきると思えました。その後も、認知がひどくなり施設に入所するまで、往診は続きました。

往診しているリウマチ患者の診察が終わり、玄関から出ると、患者の高齢のおとうさんが、玄関先まで来て、僕が見えなくなるまで、それも毎回のように、お見送りしていただくことがありました。かえる道すがら、患者に少しでも喜んでもらえるように、もっと進んだ最新の治療で応えないとバチが当たると、そんな気持ちになりました。

『先生の顔を見ると、元気をもらえる』なんて言っていたいた時なんかには涙が出そうになり、本当にこんな風に育ててくれた親に感謝しました。

クリニックをしていると、楽しいことだけではありません。へこむこともありました。それまで、機嫌よく来院されていたのに、薬の副作用（芍薬甘草湯で血圧が上がった、それも1週間しか出してないのに…）だと、地域の苦情相談所に相談され、また警察にも、駆け込まれて、どうしようと悩んだこともありました。あとでわかったことですが、ゆすりたかりだったようです。

また、従業員が確保できずに困ったことや、トイレを汚す患者に悩まされたりしました。しかし、これも修行かなーと思い、すこしずつ問題を解決する事でクリニックは成長すると楽観的に考えています。

最後に、なんといっても、これからもっと患者に喜んでもらえるように、最新の知識を、保つよう努力して、今後も頑張っていこうと考えていますので、よろしく願いいたします。

追伸

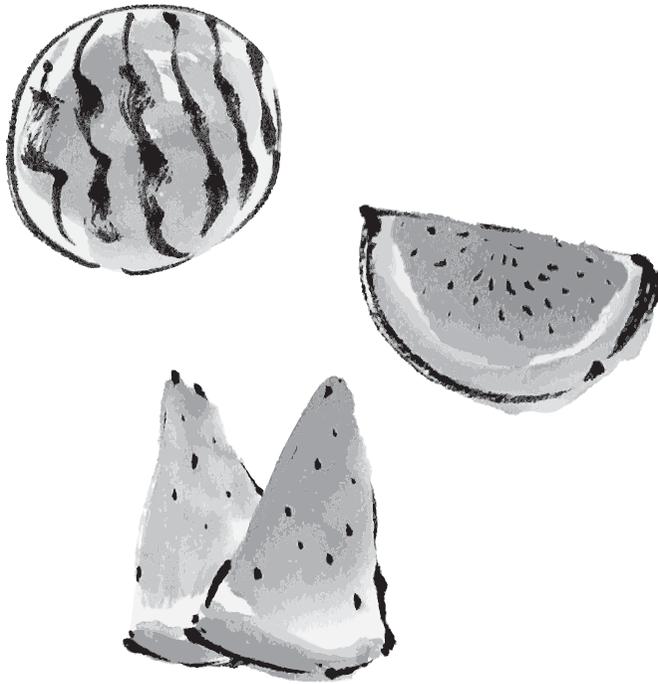
子供の頃の思い出（医者への憧れ）

まだ小学校低学年だった私は、よく風邪をひく子供でした。熱が出て、体がだるくて、その度

に、近くの開業さんのところに連れて行かれました。当然、冬の寒い日です。診察室には電気ストーブが置かれており、暖かくしてありました。体がだるく、しんどい時だったので、それだけでもホッとした気持ちになったのを覚えています。

さて、診察室に入って、先生の前椅子に座って、型通り、喉の診察と、胸の聴診の時でした。僕は、心の中で、『それでなくても、しんどいのに、聴診器って金属製でヒヤッとするの、嫌やなあ』と思った時です。先生は、まず、ストーブに

手をかざして温めて、聴診器の金属部分を手の中に包み込んでから、冷たくないのを確認してから、聴診されました。そうすると、あのひやっとした感じがなく、なんて細やかな心遣いなんだろう。なんて優しいんだろうと子供心にそう思いました。今でも、この光景は目に焼き付いており、自分自身も、このような心遣いのできる医者になりたいものだと、常々、思っている今日この頃です。



新病院建設奮闘記

土地取得編

越宗 勝（平成9年入局）

今年は市大整形外科70周年を迎えます一方で、私事ながら当越宗整形外科病院も来年70周年を迎えます。病院の老朽化も進み、数年前から病院新築移転計画が進行していました。

そんなわけで普段の医療行為とは、全くかけ離れた土地取得や銀行融資などに翻弄される日々を送っています。

その中の出来事を徒然なるままに書いていこうと思います。

移転するからにはまず、土地探しからです。病院用地ですのでそれなりの広さもいりますし、地元に近いに越したことはありません。まず、どうやって候補地をさがしていいのかもわからない状態でした。中学の同級生で不動産業を経営している友人曰く（若干グレーなお仕事をしています）、まず近所を歩いていいなと思ったら連絡をくれと、所有者を調べて交渉してあげるとありがたいお言葉をいただきました。

そのことを別の同級生に酒の席で話すと、たしかに彼なら土地を手に入れてくれるだろうけれ

ど、病院のような公共施設を建てるには向かないよと一言。その真意はいまになっては不明ですが、不動産業の同級生はその後、いろいろあって（さすがにここで文章にはできません）遠くに行かれてしまいました。

土地の話は振り出しに戻ります。相変わらずどうやって探していいかわからないでいたところ、低金利が長期化し始めた時期でもあり銀行の方がよく面会にいられていました。

ポロッと土地を探していることを告げた途端、銀行屋さんの目つきが変わります。是非とも土地探しのお手伝いをさせてほしいと。その時は親切な人だななんて単純に思っていたのですが、低金利である以上、銀行としては金利利ざやでは利益が出ず、信託事業や不動産事業、M&Aに注力するのは当然です。

こちらとしては土地探しの手掛かりもなかったもので、銀行を通じて土地を探すこととなったのです。

続く のかな



たにまち

栃ノ心が大関になりました。欧州出身では三人目、ジョージア出身では、初の大関です。一度は幕下まで落ちましたが、再度這い上がって力士の最高位「大関」までのぼりつめました。(横綱は、位ではなく、名誉称号で、正式には「横綱大関」です) 流石は「グルジアンパワー」顔を真っ赤にして取る相撲は見ごたえがあります。ひとつ気になるのは、彼の右膝がいつまでもつか？です。ACL完全断裂で、半月板も殆ど無く、軟骨の損傷も酷い状態が想像されます。見るからに凄まじい支柱付きのサポーターを付けていますが、右膝はガクガクのはずです。幕内下位の力士は、体重も軽く、受ける圧力も上位、役力士、大関、横綱達とは比べ物になりませんので、今までどおりの相撲がこれからも取れるかが問題です。右下肢に負担をかけないようにしている取り口ですので、健側の左膝にかかる負担が大きく、こちらも壊してしまわないかと心配です。因みに、大相撲協会では、使用できるサポーター、テープ類は指定されており、それ以外は使用禁止です。「ひじ打ち」のような「かちあげ」で有名になった白鵬の上腕のサポーターですが、一番表層に着けているものの材質が協会指定のものではなく、硬くザラザラしたもので、さらに、その下にまた別の硬い材質のサポーターを二重に着けていたそうで、協会から指導を受けました。かちあげ封印と、サポーターの変更を注意されたそうです。

【金星】

平幕力士が横綱に勝つことを「金星をあげる」といいます。ひとつ金星をあげると、本場所毎の報奨金に4万円加算され、年間24万円、力士を引退するまでもらえます。それくらい横綱に勝つということは大変なことです。横綱は強くなるとはなりません。長く横綱を張っていると当然、配給する金星は増えます。金星配給の最高は、北の湖の53個です。在位63場所ですので、1場所あたり0.84個。大横綱の大鵬で0.43個、千代の富士が0.49個。弱いといわれた栃ノ海が1.94個、日馬

阪本 博史 (昭和59年入局)

富士が1.28個。稀勢の里は武蔵丸と並び、ひと場所で5個献上しています。やはり、弱いですね。因みに、白鵬はというと、在位65場所で19個、ひと場所あたり0.29個、すばらしい成績です。が、ちょっと。

おもしろいデータがあります。白鵬は、モンゴル勢では、貴ノ岩以外にはひとつも金星献上していません。不思議ですね、やはり、「モンゴル互助会」は存在するのか？

【すもうの隠語】

ひたちをきめる：明治のころに、態度のでかい、大法螺ばかり吹く「常陸山」という力士がいて、態度がでかく、大きなことばかり言うことをこう言う。

しょっぱいやつ：情けない奴、弱い奴を言う。土俵に這ってばかりでいつも塩まみれでいるから。

顔じゃない：身分不相応ということで、下の者をしかるときに使う。

ガイにする：ひどいめにあわす。

例文：「この野郎、ひたちをきめやがって、しょっぱい奴め、顔じゃないよ。ガイにしてやろうか」と、かわいがられます。決してリンチではありません。相撲界には「リンチ」は存在しません。「かわいがり」があるだけです。



追手風部屋の「大栄翔」関。前頭中位の実力で、玄人好みのするお相撲さんですが、顔がこのとおりなので遠藤関に隠れて、あまり人気がありません

JCOAから家族旅行にかわる瞬間

木下 裕介（平成7年入局）

GWが過ぎ去った頃であった。「海の日にJCOAで鹿児島に行ってくるわ」「ママも行く」、「僕も行く」。(一定の間)学会参加から家族旅行に変わった瞬間である。

我が家では、よくある会話である。今までも仙台、静岡、広島が家族旅行と化している。仙台では、土曜日は仙台市内に泊まった翌日は松島に移動。静岡では登呂遺跡観光後大井川鉄道でSLに乗車、広島では平和公園から宮島観光となった。

今年の鹿児島も、1ヶ月前に新幹線を押さえた瞬間、プランが出来上がった。

7月14日(土)15:00頃新大阪発のさくらに乗り鹿児島をめざす。夜に到着。ホテルは天文館のビジネスホテル泊。現在郷土料理の店を検索中で夕食後ぶらぶらした後、鹿児島ラーメンを食べる事がすでに決まっている。

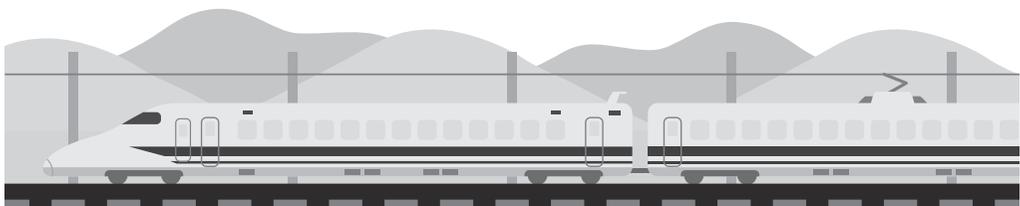
15日、僕は早朝から学会会場へ、事前登録は済ましているため、日整会カードを通しに行く。レンタカーを朝9時に予約している。磯庭園、鹿児島水族館を見学後、知覧へ向かう。武家屋敷、平和会館見学後指宿に宿泊。僕も指宿に宿泊したことが無いので少し楽しみである。16日の予定は未定であるが、候補すれば池田湖、開聞岳、枕崎あたりが候補となる。新幹線は17時頃鹿児島発となっている。こんな事で良いのだろうか？…

広島は日整会だったように記憶している。当時わが愚息は小学校の低学年で広島=原爆のイメージはあったみたいだが、戦争のイメージは無かったように思う。もっとも戦争と言っても実際には経験した人しかわからないことが数多くあると思うので、小学校低学年では、わからなくても当然かも知れない。それでどうしても広島に連れて行き原爆資料館を見せたかったことを覚えている。百聞は一見にしかず。である。現地では愚息もさすがにびっくりした様子でその衝撃はかなり大きかった様である。

広島訪問後、たて続けに長崎平和公園、沖縄ひめゆりの塔に連れて行った。あえて感想は聞いていないが、戦争の悲惨さや、命の尊さなど心に刻んでいくくればと思っている。

僕は大学生の時に鹿児島出身の友人に連れられ、知覧に行った。そこには数々の手紙や遺書が展示されている。文章になっている言葉は本当にそう思っているのか？それとも見えない力で書かされているのか？文章の行間から色々な事を想像したのを覚えている。

愚息は現在15歳、展示されている手紙・遺書は二十歳前の青年だったように記憶する。愚息は何を感じ取ってくれるだろうか？言葉に出す必要は無いと思っている。より多くの事を感じ取ってくれば、JCOAが家族旅行に変わっても価値はあると思っている。



ポーランド生まれの歌姫 Basia

鱧永 浩 (平成7年入局)

Basia バーシア。

私が、まだ学生であったころ、20年以上も前になりますが、バーシアいいよと、同級生から教えてもらって、聴いたのが最初です。

今回、ご紹介します、The Sweetest Illusion が、教えてもらったアルバムでした。

その後20年以上、クルマが変わっても、いつも、CDをCDチェンジャーに入れっぱなしで、最近ではUSBメモリを接続して、よく聴いています。

ジャズ、ボサノバ、ダンス、ポップスなど様々な分野をミックスした、おしゃれなサウンドで、爽快な音とリズムで、軽やかに聴かせてくれます。

プロフィールです。

シンガー・ソングライター。本名Basia Trzetrzelewska。1954年9月30日ヤヴォジュノ生まれ。

1970年代半ばに渡米・渡英し、ロンドンを拠点に音楽活動をはじめ。1987年にリリースした初リーダー作『Time And Tide』、1990年のセカンド・アルバム『London Warsaw New York』がミリオン・セールスを記録。アメリカのビルボード社のコンテンポラリー・ジャズ・アルバム・チャートでも共に1位を獲得した。1994年のサード・アルバム『Sweetest Illusion』からのシングル・カット「Drunk on Love」はビルボード・クラブ・プレイ・チャートで1位に輝いた。

(ポーランド広報文化センター HPより)

そして、今年5月に、久しぶりに新しいアルバムが発表されました。

Butterflies です。

バーシア節といますか、The Sweetest Illusion から24年経った今も、変わらない歌声で、懐かしさすら感じられます。

興味を持たれましたら、iTunes などで試聴されてみてはいかがでしょうか。さらっと聴けて、外来にもいいかもです。

The Sweetest Illusion (1994)



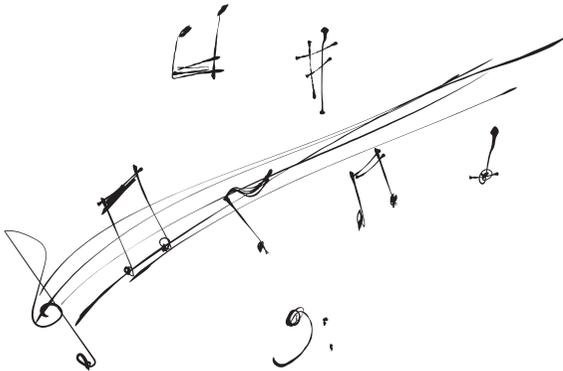
01. Drunk on Love
02. Third Time Lucky
03. Yearning
04. She Deserves It/Rachel's Wedding
05. An Olive Tree
06. The Sweetest Illusion
07. Perfect Mother
08. More Fire Than Flame
09. Simple Pleasures
10. My Cruel Ways
11. The Prayer of a Happy Housewife



Butterflies (2018)



01. Bubble
02. Matteo
03. No Heartache
04. Butterfly
05. Where's Your Pride
06. Be.Pop
07. Liang And Zhu
08. Show Time
09. Like Crazy
10. Rachel's Waltz
11. Pandora's Box



OMAKE

高橋幸広のアルバムをご紹介します。

サディスティック・ミカ・バンド、イエローマジックオーケストラ (YMO) などで活躍されたアーティストです。

落ち着いた曲で、聴きながら読書ができます。

Page By Page (2009)



01. Out There (Featuring Lali Puna)
02. The Words (Featuring amiina)
03. My Favorite Hat
04. Out of Here
05. Perfect Wound (Featuring Steve Jansen)
06. The Muse
07. Emerger (Featuring Keigo Oyamada a.k.a. Cornelius)
08. Atomic Chicken Dog (Featuring Atom)
09. You've Got To Hide Your Love Away
10. Indefinable Point (Featuring Steve Jansen)
11. Meteor Rain -Leonids on the morning of November 17th- (Featuring Lali Puna & amiina)
12. Valerie

シンギータ・ボルダーズ・ロッジ

秋野 一男（昭和56年入局）

先月6月16日の市整会の研修会で宮脇先生から、突然「何でもいいから、会報に投稿して！今月中にいけるかな？」との依頼を受けました。生来の無精者のため、こまめなことは苦手ですが、市整会の依頼ならばと思ひ筆をとらせていただきます。

開業医の私の生活は、大変なこともあれば、楽しいこともあります。とびきり楽しい思い出を書くことにします。

2013年12月28日土曜日23時40分、午後にレセをすませ妻と二人で、エミレーツ317便にて、閑空よりドバイに向け出発しました。旅行の目的は、南アフリカのシンギータ・ボルダーズ・ロッジでのサファリです。10年来の夢をかなえる時がきました。そこは、富豪の知人が「いままで、たくさんの旅行をしたけれど、世界最高の場所だった」と言っていた所です。是非、私も行ってみたい。永い間そう思っていました。しかし何せ地球のほぼ裏側の国ですので、我々開業医には、なかなかハードルの高い夢でした。

しかし2013年末の日並びなら行けそうと思ひ立ち、約1年前にホテルの予約をとりたと思ひました。全室スイートの13部屋しかないホテルなので、予約が困難ということは知っていました。たまたまキャンセルが出て、奇跡的にスムーズに予約がとれました。ちなみにJTB、HIS等では全く予約は、とれません。

ドバイまでは約11時間のフライトです。ドバイの空港は素晴らしく、何もかもが、金ピカで大きく、ラウンジも、とても充実していました。空港でシャワーを浴び、最近、阪神百貨店1階にオープンしたシェイク・シャックのハンバーガーを食べました。空港のなかで、ボルシェをラッピングして売っていたり、派手な所でした。ドバイから、またエミレーツ770便にて、ケープタウンへ約10時間の旅。ビデオをたくさん見ました。エミレーツでは就寝時、シートにマットレスを敷いてくれて、びっくりしました。

ケープタウンでは、テーブルベイホテルに滞在

し、ガイドと車をチャーターしました。ガイドのベンさんは日本人の奥さんと結婚しているとのこと。流暢な日本語で案内してくれました。ケープタウンも緑が美しく見所たっぷりの街です。

翌日は、朝食の後、観光に出発。観光はテーブルマウンテン、2000頭をこえるミナミアフリカオットセイのコロニーがあるベイカー島を訪れ、断崖絶壁のチャップマンビークドライブを通り、野生のペンギンが生息するボルダーズビーチ、喜望峰、ケープポイントを目ざしました。アフリカ南端の喜望峰の看板を見た時は、正直感動しました。

翌日は、テーブルマウンテンの東側にある広大なカーステンボッシュ国立植物園を訪問。その後、ステレンボッシュにてワイナリー巡りをしました。夕食のあと、カウントダウンパーティーで街は賑わっていました。

2014年1月1日、ケープタウンから空路、ネルスプロイトへ。ネルスプロイトから迎えの車で、シンギータ・ホルダーズ・ロッジへ。シンギータとは現地の言葉で奇跡の場所という意味でルレ・エ・シャトーのメンバーの五つ星ホテルです。南アフリカでもトップクラスのラグジュアリーロッジです。全てにおいてトップクラスの設備を備え、スーパーモデルも御用達のコテージタイプの豪華ロッジです。石造りの素晴らしいバスルームとベッドルームが特徴的で全室プール付きです。静かで広大な景色を眺めながら、南アフリカワインと最高のフレンチディナーが楽しめます。

ボルダーズ・ロッジは、南アフリカ北部のムプマランガ州にある、四国ほどの広さのクルーガー国立公園の西側に隣接するサビサンド私営保護区にあります。クルーガー国立公園とは、柵無しで隣接し動物が自由に行き来できます。公園内には鳥類、哺乳類を始め多数の野生動物が生息し、その数は世界最多だそうです。

さてサファリとは、本来スワヒリ語で「旅」という意味です。転じて野生動物の狩猟旅行、そのための探検隊という意味に用いられていました。近年では、世界的に野生動物保護が叫ばれている

ことから、ハンティングではなくルールに従って野生動物を観察するツアーのことを、サファリもしくは、ゲームウォッチングと呼んでいます。

さてホテルでのスケジュールは、動物たちの活動時間帯に合わせて組まれています。モーニングサファリとイブニングサファリと1日2回のゲームドライブに参加します。サファリ用に改造されたレンジローバーに4～6名が同乗し、ドライバーと、ライフルを携帯したサファリレンジャーが、動物を追いかけてくれます。ビッグファイブと呼ばれる象、ライオン、サイ、^{ひょう}豹、バッファローの他にインパラ、かば、イボイノシシ、シマウマ、きりん、ウォーターバック、カメレオンなど肉食の大型動物から小型の草食動物まで、たくさんの野生動物を見ることができます。そして、その姿は動物園の動物と違って、眼光鋭く生き生きとしています。国立公園では、サファリカーは規定の道以外には入り込めず、道から野生動物を観察するのがルールです。しかし私営保護区では規制がゆるく、動物を追って自在に走り回ることが許されており、よりよい条件で動物を観察できます。レンジローバーが川を渡り、ブッシュをなぎ倒しながら走る姿は、本当に圧巻です。

モーニングサファリの後は、ロッジに戻って、ゆっくり朝食をとり、午後のはんびりお昼寝。イブニングサファリの最後には、安全と思われ、かつ夕日が美しい場所で車を降りて、サンダウナーと呼ばれるカクテルパーティーが開かれます。改造したレンジローバーから、テーブルをとり出

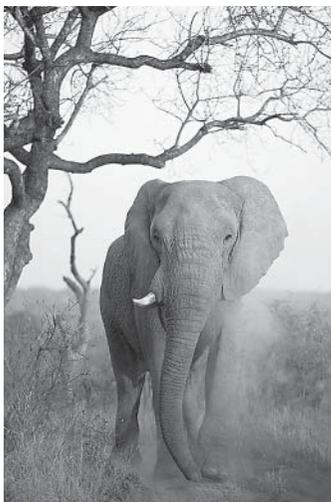
し、冷えたシャンパンを飲みながら、暮れてゆくアフリカの空の変化を楽しみながらのカクテルタイムは、まさに至福の時。夕陽に乾杯！ 部屋に戻ってシャワーを浴びて一息つき着替えたらディナーへ。初日は屋外でのルレ・エ・シャトーらしい本格フレンチ。松明の灯りとキャンドルに照らされたテーブルで、南アフリカならではの、現地食材を使った美食を堪能しました。アルコールもピンテージワイン以外は全て無料で楽しめます。

翌日の朝、部屋の周りにアフリカンモンキー、ウォーターバックが歩き回り、静かに開けゆく朝を、プールサイドで眺めていると、荘厳さに、静かに涙が頬をつたっていました。

2日目の夜、イブニングサファリを楽しみシャワーを浴びた後「ボマ」と呼ばれる、伝統スタイルのビュッフェパーティーに参加しました。星空の下で焚き火を囲んで、ディナーを楽しみました。パーティーの途中でスタッフによる、アフリカ伝統の歌と踊りが始まります。星降る空のもと、アフリカの夜は静かに暮れていきました。

帰路は、ネルスプロイトから空路、ヨハネスブルグ、ドバイを経由して関空へ。1月4日は16時50分に到着しました。帰りの飛行機は、A380で機体後部に立派なバーカウンターがあり、きれいなアテンダントが、カクテルを作ってくれました。

帰国後数日は、アフリカ病にかかったようで、興奮で、よく眠れませんでした。皆様も是非行ってみて下さい。



マルタ島

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回は今年の年末年始に旅行してきましたマルタ島について書きたいと思います。

マルタ共和国はイタリアの南端シチリア島のさらに南に位置する小さな島国です。マルタ島、コミノ島、ゴゾ島の3つの島から構成されます。その位置から地中海の要衝の地として有名で、これまでも多くの国がマルタ島の争奪戦にかかわりました。マルタ騎士団が要塞都市を作り、オスマン帝国からの攻撃を退けました。また第二次世界大戦中はイギリス海軍の拠点であったためドイツからの空襲を受けましたが、ついに陥落する事はありませんでした。

マルタはEU加盟国で、公用語は英語です。そのため日本からの留学生も多く来ています。何よりも重要な事はシチリア島の南側であるにもかかわらず非常に治安が良いということです。子供を連れて観光をすることも可能くらいのところですよ。気候は冬は温暖ですが、夏になるとかなり暑いようです。旅で重要なポイントとなるマルタの料理ですが、イタリア料理に近く新鮮な海産物と野菜を中心としてかなり美味しい食事と言えましょう。またワインもシチリアに負けず劣らずおいしく、かつ値段も安いのですが日本国内で飲む事は極めて困難ですので、マルタ滞在中にしっかりと飲むようにしましょう。

マルタに行って、1番驚いたのはどこの国の観光地に行っても見かける中国人がマルタではほとんどいない、アジア系の人を見かけたらほとんどが日本人です。これはマルタ島内に、いわゆるブランドショップが非常に少ないせいかもしれません。

マルタ島内は多くの観光名所があり見所がいっぱいです。マルタ島やゴゾ島の観光名所を回る時に便利なのが、マルタバスと言うチケットです。これ一枚で最大三日間、多くの観光名所の入場料が無料かつ周遊観光バスがタダで乗れます。日本からネットで購入すると半額で購入することができますので、出発前に必ずゲットしておいてほしいと思います。

まず最初は世界遺産の城塞都市バレッタです。マルタ騎士団が作った城塞都市で、海からの攻撃に耐えるような作りになっています。バレッタの中で1番美しかったのは、聖ヨハネ大聖堂です（写真1）。外の作りからは想像できないような豪華絢爛な内部の教会です。壁や天井は黄金に輝いた装飾品で飾られて圧倒されます。床には美しいモザイクで作られた大理石で騎士の墓標となっています。バレッタにはそれ以外にも多くの見るべきところがあるのですがとりあえずこれぐらいにして、次は海の話です。

マルタには青の洞門と言われる、透き通った青の海があります（写真2）。ここはイタリアのカプリ島の青の洞窟より美しいと言う人もいます。本来ならば小さなボートに乗って周遊することができるのですが、私たちが行った冬の時期では風が強くボートは休んでいて、乗ることができませんでした。

次にゴゾ島の海ですが、アズールウィンドーと言う波の侵食と風が作り出した自然のアーチであったのですが、私たちが行く直前に崩落してしまい私たちが行ったときにはもうその面影はありませんでした。しかしそのすぐ近くにブルーホールと言う波の侵食でできた洞窟があります（写真3）のでそちらの観光も良いかと思います。その他にゴゾ島には赤い砂浜で有名なラマラビーチがあります（写真4）。砂の色は赤と言うよりはどちらかと言うと茶褐色で非常にきめの細かい砂です（写真5）。夏のシーズンには多くの海水浴客で賑わうようです。

マルタには多くの観光名所がありますが、今から4500から6000年前に建てられた巨石神殿が多く点在しています。これらの遺跡はエジプトのピラミッドよりも古いものです。中でもハジャーイム神殿は規模も大きくかつ保存状態も良いものでした（写真6）。ただかなり中が広いので、歩いて回るのはかなり疲れます。

もう一つマルタ島で有名なのは、人口の倍以上も生息する猫たちです。猫好きの方にとってはた

まらないでしょうが（写真7）、実際行ってみると街中で意外に猫に出くわすことが少なかったです。なかなかテレビに出てくるようにどこ歩いていても猫に会うという事はありませんでした。聞くところによるとある特定のスポットに行くと、多くの猫たちに会えるようです。

観光スポットが多く、まだまだ他に紹介したいところがあるのですが、このように美しい海と古い歴史を感じさせるマルタ島に皆様もお出かけになってみてはいかがでしょうか。お土産にはゴゾ島の特産のサボテンのジャムと蜂蜜をお忘れなく。



写真1

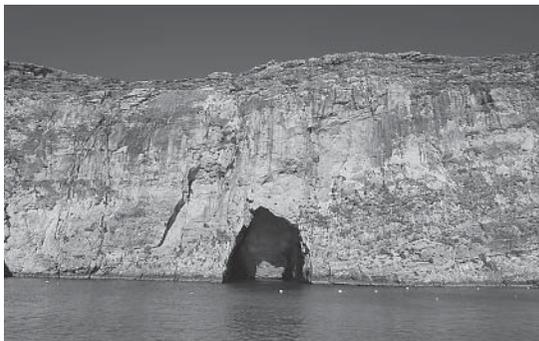


写真3



写真4



写真2



写真5



写真6



写真7



編集後記

6月18日の大阪北部地震、皆様いかがでしたでしょうか？私のところの西宮はあまり大したことがなかったのですが、高槻、茨木、吹田、豊中の先生方は大変であったと思います。時間帯が朝の通勤時間帯であったので、今回は職員が集まらないという事態を想定しないとけないということを痛感した次第です。もし時間がずれて、多くの患者がごった返す時間帯なら、物療器具が倒れたりすると、バンドで固定された患者さんはひとたまりもないとか考えると背筋が寒くなります。

さて今回も皆様のご協力で会報夏号を発行することができました。恒例の巻頭言、総会記事の他に、副会長に就任される西澤先生からご投稿をいただきました。藤原先生からは古き良き時代？の大学医局のお話をいただきました。また今回初登場の越宗先生からは病院建て替えの苦労話を伺うことができました。秋野先生も楽しい旅行記を書いていただきました。

忘れてはいけない、レギュラー執筆陣の先生方にも感謝いたします。いつも無理なお願いばかりして申し訳なく思っています。次号の記事もよろしく願いいたします。

さて、今年の10月28日に教室の70周年記念式典もあります。市整会の会員先生方にとりましては、勤務医の先生方や現教室員の先生方と触れ合える絶好の機会になろうかともます。奮ってのご参加よろしく願いいたします。

追伸。西日本の広い範囲で豪雨による洪水や土砂崩れなどの大規模な水害に見舞われました。被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

今回の会報の締め切りが、地震と水害の前であったために、記事の中に反映されていないことをお詫び申し上げます。

広報 宮脇裕二